

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・整備事業

コード	名称
事業名	2025 大仏寺線大仏橋耐震対策事業
基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する

担当部課名	大山田支所産業建設課
作成者氏名	廣田 稔
連絡先	47-1157

事業の計画・内容

整備目的	予測される東海・東南海地震等の災害によりこの橋が落橋した場合、地域住民の生活に多大な影響があるため、耐震補強整備を実施し、住民の生活安定を図る	整備内容	1 整備面積等	橋長 L=35.9m 幅員W=3.5
	2 規模・構造		落橋防止工一式	
	3 総事業費(千円)		40,000	

投入資源

	H18	H19	H20
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	23,000	17,000
	委託料	2,700	3,000
	工事費	19,773	13,000
	その他	527	1,000
合計(A+B)	23,720	17,720	
③財源内訳(千円)	特定財源		
	国県支出金	12,650	9,350
	地方債	9,800	7,200
	受益者負担		
	その他特財		
一般財源	1,270	1,170	
上記①～③に関する特記事項			

根拠法令・要綱等	地方交付金事業
関連事業	

事業年度	開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 22 年度
------	------	----------	------	----------

事業計画(※同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年 度				
	H18	H19	H20	H21	H22
測量設計	2,700	3,000			
工事費	19,773	13,000			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
落橋防止工一式	計画通り事業を進め強度を確保し、使用に供する	平成 19 年度 事業完了

評価	必要性	4	施工箇所は大山田地区の生活道路として重要な、国道163号線に連絡しており、通行頻度が高い。完成後35年を経過しており、劣化が見られるため、強度確保と併せて整備が必要である。
価	有効性	4	大山田地区は中心部を河川が流れ、南北に二分する形となっている。施工予定箇所が使用不能となれば通常はもちろんであるが災害時戸等に大きな影響がある
	効率性	4	他の施工箇所と同時期に計画を進めることとしている。補助の事業メニューを検討し、目的・規模に合致するものにした。

総合評価

A